

障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（堺市）

実施事業所

NPO法人kokoima おめでたい

導入した設備

キッチンカーおよび常滑焼壺

事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

事業所の所在地である地域の特性が課題である。近隣の大学(関西大学堺キャンパス)、連合自治会、地域住民とのイベントなど地域連携事業に利用者とともに積極的に取り組み、地域内の知名度は向上していると自負している。しかし、事業所が生産している商品(壺焼き芋、Caféメニューなど)に対する地域の購買力は高いとはいえないのが現状である。事業所を拠点に、購買力を期待できるイベント(マルシェ、フェスなど)、駅(南海電鉄の無人駅など)、他施設(福祉、医療系の施設など)などに積極的に出店することで飲食部門における生産収入向上を図りたい。「つぼ焼きいも」は、コロナ禍で減少したCafé部門の集客と収入向上対策として開発したテイクアウト商品である。キッチンカー導入により、軽トラックでは販売できない冷やし焼き芋や焼き芋スイーツ、カフェメニュー等を販売し、生産収入を向上させたい。



事業内容

2024/11/26 補助金交付決定

提供メニュー(焼き芋アイス、味噌カレー)の検討及び試作開始。利用者にキッチンカー導入について共有。

12/1 常滑焼壺購入

壺に慣れるため、キッチンカー納車前から積極的に使用。

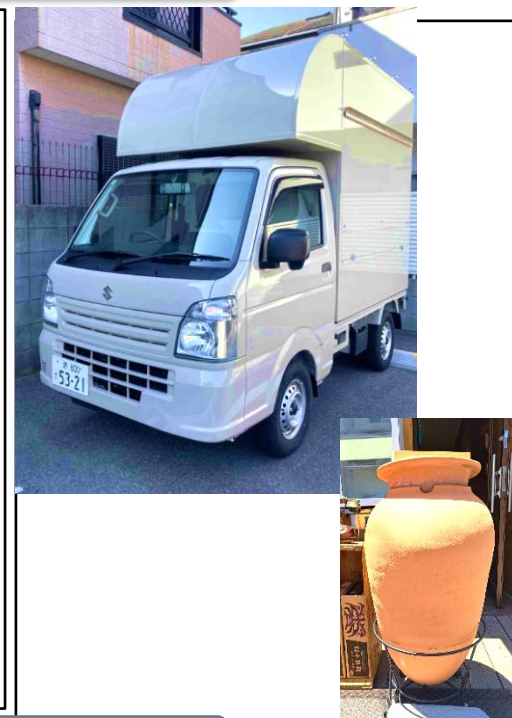
2025/2/21 キッチンカー納車

3/7 飲食店営業(自動車)許可取得

3/13 テストラン(関西大学堺キャンパス、八丁味噌カレー22食)

3/27 テストラン(関西大学堺キャンパス、八丁味噌カレー20食)

本格営業に向けたテストランでは利用者及び職員の食事提供を中心に、一般客への販売も行った。利用者は調理、販売時の接客などを担当。受け渡し手順などを確認した。今後のブラッシュアップのため、テストラン後に利用者及び職員で振り返りを実施した。



生産設備導入後の効果

令和5年度平均工賃 32,680円(R5年4月～R6年3月)／令和6年度平均工賃 35,967円(R6年4月～R7年3月)

平均工賃は前年度から3,287円上昇した。キッチンカーの2024年度内稼働はテストランにとどまったため、直接的な生産収入増加を実現することはできなかった。しかし、キッチンカー導入が利用者の新たな仕事への興味関心を生み、モチベーション向上につながったといえる。例年1月から3月は通所が不安定になる利用者が増える傾向にあるが、2024年度は通所回数・時間の大幅な減少はみられなかった。この点も導入によるものといえる。また、常滑焼壺の導入により、焼き時間は3割程度減少し、温度管理にかかる時間も大幅に減少したため、利用者の接客力向上支援にも注力できた。

「キッチンカーで何を販売するのか」「いつから販売に行けるのか」「ポスターやメニュー表などたくさん飾りつけが必要だから考えたい」「私もキッチンカーの仕事をしたい」「出張販売には行けないが仕込みでがんばりたい」など、キッチンカーでの販売に興味関心を示したり、積極的にかかわりたいという声が多く上がった。